



Softbank ケータイ機能制御 利用マニュアル

Ver.5.0

目次

目次.....	2
Chapter 1.....	3
はじめに.....	3
1 ご利用上のご注意.....	3
2 アクセス方法.....	4
3 サービス概要.....	5
3.1 対応機種.....	5
3.2 機能概要.....	6
ご利用の流れ.....	7
3.3 画面遷移.....	7
Chapter 2.....	8
ケータイ機能制御の操作方法.....	8
1 対象回線の選択.....	8
1.1 携帯電話番号を選択して操作を行う.....	8
1.2 グループを選択して操作を行う.....	10
2 機能のロック.....	11
3 機能のロック解除.....	15
4 携帯電話の状態を表示.....	18
5 携帯電話の画面表示.....	21
6 サービスご利用の履歴.....	23
7 送信したリクエストのキャンセル.....	26
7.1 先行のリクエストをキャンセルして再度リクエストする.....	27
7.2 先行のリクエストをキャンセルする.....	28
Appendix 1.....	29
結果表示メッセージ早見表.....	29
1 「サービスご利用の履歴(一覧)」画面の表示メッセージ早見表.....	29
1.1 要求:機能のロック.....	29
1.2 要求:機能のロック解除.....	30
2 「サービスご利用の履歴(詳細)」画面の表示メッセージ早見表.....	30
2.1 要求:機能のロック.....	31
2.2 要求:機能のロック解除.....	31
3 「携帯電話の状態を表示」の表示メッセージ早見表.....	33
Appendix 2.....	34
機能毎の制御内容.....	34
制御内容の注意点.....	37

Chapter 1

はじめに

1 ご利用上のご注意

- 本サービスは、4G 通信サービス契約約款、または 5G 通信サービス契約約款、ウェブ使用料を法人名義にてご契約いただいている方のみお申し込みいただけます。
- 本サービスのご利用には、「法人基本パックプラス」または「法人基本パックプラス for 4G ケータイ」へのお申し込みが必要です。
- 本サービスは、携帯電話のパケット通信が可能な状態の場合のみご利用可能です。圏外や電波の弱い場所にある場合、または携帯電話の電源が入っていない場合、本サービスによる携帯電話への遠隔操作は実行されません。
- リクエスト送信時の携帯電話の状態によっては、処理が完了するまでに時間がかかることがあります。
- データ更新のタイミングにより、本サービスの内容が実際のお客さまのご利用状況と異なった表示となることがあります。また、システムメンテナンスなどにより、一時的に本サービスを停止する場合がありますので予めご了承ください。
- 携帯電話に機能制御を行なったままで、請求先番号の変更や、サービスの解約、回線の契約解除を行うと携帯電話の機能制御の解除ができなくなってしまう場合がありますので、あらかじめ携帯電話の機能制御を解除してください。
- ご利用者は、本サービスに関する一切の権利を第三者に譲渡・転貸することはできません。
- 本サービスのご利用には、「法人コンシェルサイト」の管理者 ID とログインパスワードを取得いただく必要があります。管理者自身で責任を持って管理者 ID とログインパスワードの取得・管理をいただけますようお願いいたします。
- 本サービスの提供、遅滞、変更、中止もしくは廃止、本サービスを通じて提供される情報等の消失、その他本サービスに関連して発生したご利用者の損害について、理由の如何を問わず当社は一切責任を負わないものとします。
- その他、サービスのお申し込み・ご利用にあたっては「ケータイ機能制御サービスご利用規約」をお読みいただき、ご承諾いただきます。
- 4G ケータイでは、通話中はロックをかけることができません。
- 法人コンシェルサイトの推奨動作環境は、[こちら](#)をご確認ください。

2 アクセス方法

本サービスは、「法人コンシェルサイト」からご利用が可能です。

- ① 「法人コンシェルサイト」のログインページ (<https://portal.business.mb.softbank.jp/portal/>) から、管理者 ID およびログインパスワードを入力し、[ログイン]を押下します。



図 1-1 「ログイン」画面



- サービスをご利用いただくには、事前に「法人コンシェルサイト」に登録いただき、管理者 ID/ログインパスワードを取得する必要があります。
- 管理者 ID・ログインパスワードは半角にて入力してください。
- ログインパスワードを 3 ヶ月以上変更していないと、ログイン時にパスワード変更のメッセージが表示されます。指示に従ってパスワードを変更してください。

- ②メインメニューの[ケータイ機能制御]を押下します。



図 1-2 「メインメニュー」画面

- ② 「ケータイ機能制御 サービスメニュー(図 1-3)が開きます。



図 1-3 「サービスメニュー」画面

3 サービス概要

「ケータイ機能制御」は、業務利用の携帯電話の一部の機能を利用不可に設定するための、法人のお客さま向けサービスです。

社内の管理者(主に総務や情報管理のご担当者)が、「法人コンシェルサイト」にログインし、携帯電話に対して特定の機能の利用ができないように遠隔でロックをかけることが可能です。

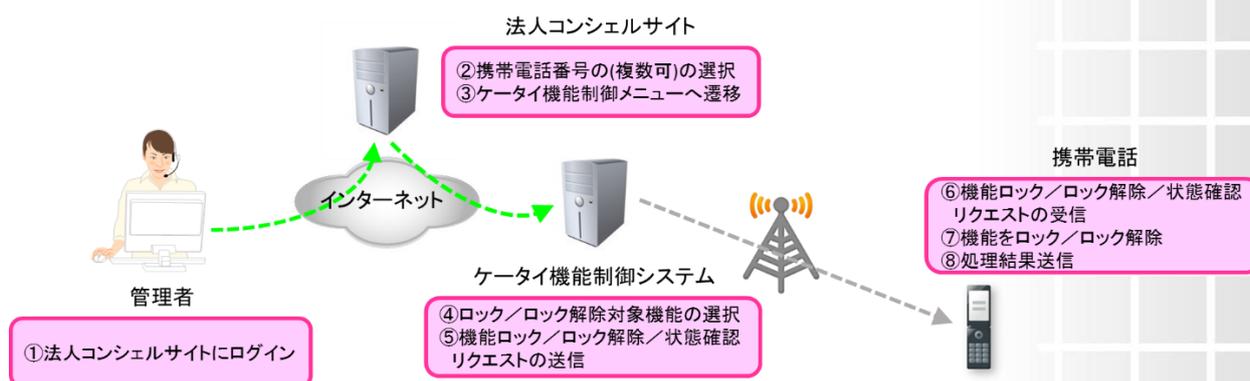


図 1-4 ケータイ機能制御サービス概要図

3.1 対応機種

本サービスをご利用いただくには、対象の携帯電話が本サービスに対応している必要があります。また機種により制御可能な機能が異なります。

対応機種等の詳細につきましては、法人のお客さま向けホームページ (https://www.softbank.jp/biz/mobile/service_solution/service/4g/kinouseigyoo/) をご覧ください。

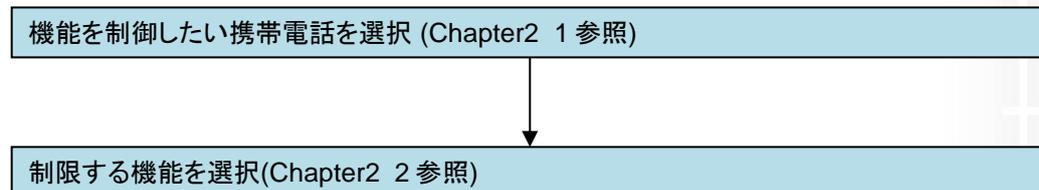
3.2 機能概要

当サイトでは、以下の機能がご利用可能です。

- 機能をロック
選択した機能を、操作不可能な状態にします。
機能のロックは一度に複数の携帯電話に対してリクエストを送信することが可能です。
- 機能のロックを解除
ロックされている機能を、再び使用可能な状態に戻します。
機能のロック解除は一度に複数の携帯電話に対してリクエストを送信することが可能です。
- 携帯電話の状態を表示
携帯電話の現在の機能ロックの状態を確認します。
機能ロック・機能ロック解除のリクエストが正常に処理されたかどうか、携帯電話の現在の機能ロックの状態を確認します。
- サービスご利用の履歴
過去 150 日間のケータイ機能制御のご利用履歴を表示します。

ご利用の流れ

ケータイ機能制御のご利用の流れを以下に示します。



3.3 画面遷移

ケータイ機能制御の画面遷移を以下に示します。

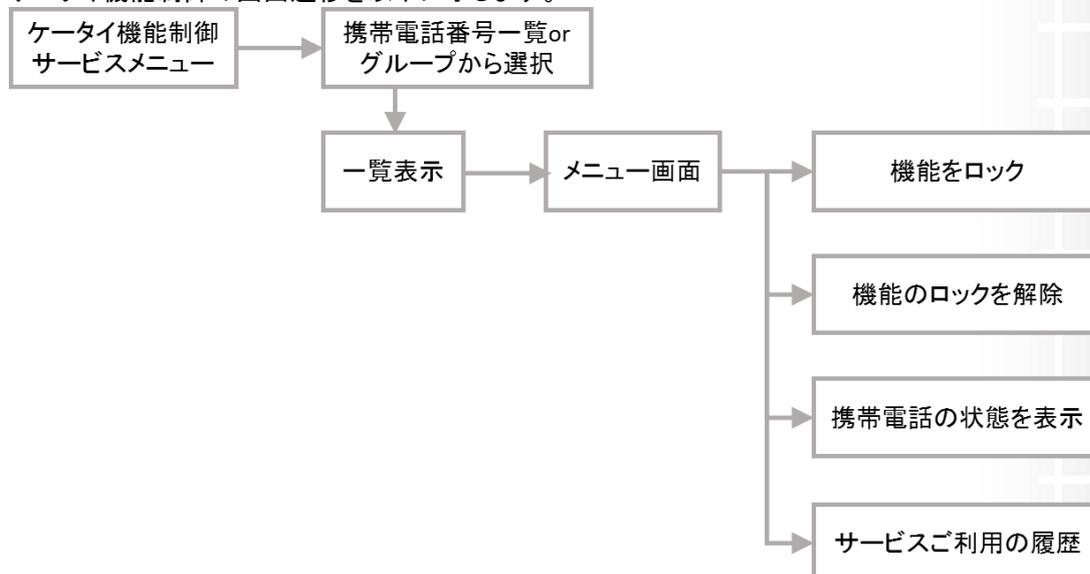


図 1-5 ケータイ機能制御画面遷移

Chapter 2

ケータイ機能制御の操作方法

ここでは各機能「機能をロック」「機能のロックを解除」「携帯電話の状態を表示」「サービスご利用の履歴」を利用する際の操作方法について記載します。

各機能を利用するためには、まず対象とする携帯電話を選択する必要があります。

1 対象回線の選択

「ケータイ機能制御 サービスメニュー」(図 1-3)には対象回線の選択方法が表示されています。

「対象回線の選択」方法は以下の2通りがあります。

- ① 携帯電話番号を選択する方法
- ② グループを選択しその中から対象の携帯電話番号を選択する方法

なおグループからの選択を実施する場合は予め「法人コンシェルサイト」の「グループ管理」にてグループの作成が必要となります。

1.1 携帯電話番号を選択して操作を行う

携帯電話番号一覧を選択して操作を行う手順を以下に記載します。

「サービスメニュー」画面(図 1-3)にて、[携帯電話番号を選択して操作を行う]を押下します。

「携帯電話番号一覧から選択」画面(図 2-1)にて対象回線の[選択]チェックボックスを ON にし、[次へ]を押下します。

携帯電話番号一覧から選択

ケータイ機能制御を利用する対象回線を選択し、「次へ」ボタンを押下してください。ケータイ機能制御の操作画面が開きます。
※ポップアップブロック機能を設定している場合は、解除してください。

表示項目変更

指定なし 50件表示 ▼

対象回線選択:0件/50件

選択	No.	グループ名	電話番号	氏名	部署名(1)
<input type="checkbox"/>	1	営業1部	090-9999-0001	山田 太郎	営業統括本部
<input type="checkbox"/>	2	営業2部	090-9999-0002	山田 太郎	営業統括本部
<input type="checkbox"/>	3	営業3部	090-9999-0003	山田 太郎	営業統括本部
<input type="checkbox"/>	4	営業4部	090-9999-0004	山田 太郎	営業統括本部
<input type="checkbox"/>	5	営業5部	090-9999-0005	山田 太郎	営業統括本部
<input type="checkbox"/>	6	営業6部	090-9999-0006	山田 太郎	営業統括本部
<input type="checkbox"/>	7	営業7部	090-9999-0007	山田 太郎	営業統括本部
<input type="checkbox"/>	8	営業8部	090-9999-0008	山田 太郎	営業統括本部

対象回線選択:0件/50件

前へ 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 次へ

図 2-1 「携帯電話番号一覧からの選択」画面



注意

- 選択可能な最大数は 200 回線までとなります。

「ケータイ機能制御メニュー画面」画面(図 2-2)が表示されます。

法人コンシェルサイト

ケータイ機能制御

電話番号: 3件

メニュー

- 機能をロック
>

携帯電話の機能を制御します。
- 機能のロックを解除
>

携帯電話に設定されている機能制御を解除します。
- 携帯電話の状態を表示
>

携帯電話の機能制御状態を確認します。
- サービスご利用の履歴
>

ケータイ機能制御のご利用履歴を表示します。

法人コンシェルサイトへ戻る

© SoftBank Corp. All rights reserved.

図 2-2 「ケータイ機能制御メニュー」画面



注意

- 表示されている携帯電話番号の件数とサービスを利用したい携帯電話番号の件数が異なる場合、「携帯電話番号一覧から選択」画面に戻り携帯電話番号を選択し直してください。

1.2 グループを選択して操作を行う

「法人コンシェルサイト」の「グループ管理」を利用しグループを作成している場合はグループ単位で操作できます。グループを選択して操作を行う手順を以下に記載します。

「サービスメニュー」画面(図 1-3)にて、[グループを選択して操作を行う]を押下します。

「グループから選択」画面(図 2-3)にて登録または変更するグループの[選択]チェックボックスを ON にし[次へ]を押下します。

選択	No.	グループ名	メンバー数
<input type="checkbox"/>	1	[Blurred]	13名
<input checked="" type="checkbox"/>	2	[Blurred]	5名
<input type="checkbox"/>	3	[Blurred]	5名

図 2-3 「グループから選択」画面

『Chapter2 - 1.1 携帯電話番号を選択して操作を行う』と同様に「ケータイ機能制御メニュー」画面(図 2-2)が表示されます。



注意

- 表示されている携帯電話番号の件数とサービスを利用したい携帯電話番号の件数が異なる場合、「グループから選択」画面に戻りグループを選択し直してください。

2 機能のロック

携帯電話の機能をロックするには、「ケータイ機能制御メニュー」画面(図 2-4)の[機能をロック]より操作を行い、ロックする機能を選択し、「機能をロック」リクエストを携帯電話へ送信します。携帯電話が「機能をロック」リクエストを受信すると、携帯電話の機能はロックされます。

「ケータイ機能制御メニュー」画面(2-4)の[機能をロック]を押下します。

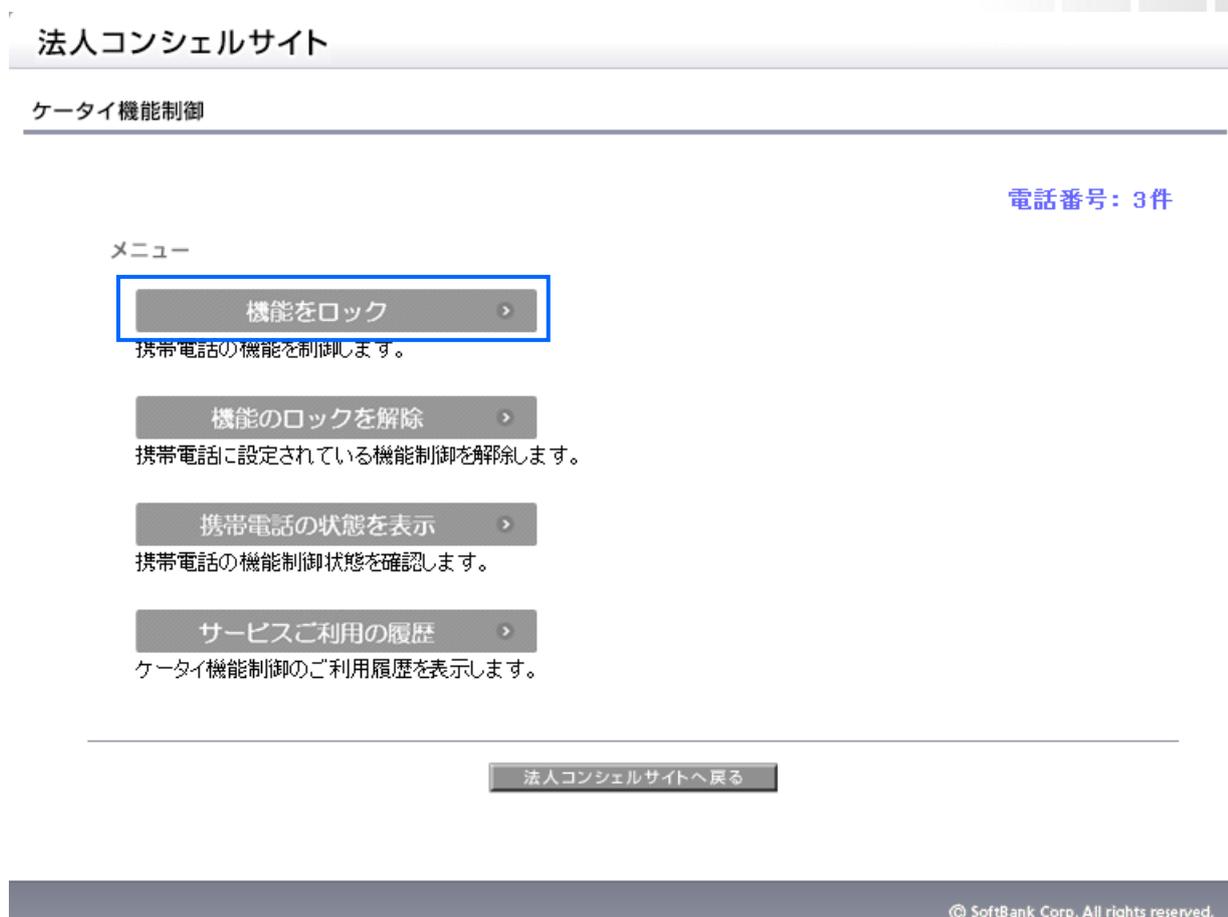


図 2-4 「ケータイ機能制御メニュー」画面

「機能をロックする」画面(図 2-5)が表示されます。

画面上部のプルダウンを押下すると対象機種を選択できます。対象機種を選択した場合、その機種が対応しているロック機能のみが表示されます。(対象機種を選択しなくてもロック機能はご利用いただけます。)

ロック対象とする機能の [選択]チェックボックスを ON にし、[次へ]を押下します。

法人コンシェルサイト

電話番号: 3件

メニューに戻る

機能をロックする

プルダウンよりご利用の機種を選択し、ロックする機能のチェックボックスにチェックを入れ、「次へ」を押下してください。

- ※ 各機能項目にカーソルを乗せると、ヘルプが表示されます。
- ※ 下記いずれかの機能をロックする場合は、併せてページ最下部の一時解除設定を必ず行ってください。
 - ・発着信 - 着信 - 音声着信
 - ・電話帳外発着信 - 着信 - 音声着信
 - ・海外ローミング設定 - 着信/受信 - 音声着信/メール受信

発着信

発信	<input type="checkbox"/> 音声発信 <input type="checkbox"/> TVコール発信
着信	<input type="checkbox"/> 音声着信

メール

全メール	<input type="checkbox"/> 全メール送受信
SMS	<input type="checkbox"/> SMS送信 <input type="checkbox"/> SMS受信

図 2-5「機能をロックする(機能選択)」画面



- 全ての機能の[選択]チェックボックスを OFF にし、[次へ]を押下した場合、全ての機能を選択した場合と同じ状態となります。
- 「全メール送受信」の[選択]チェックボックスを ON にしても SMS の送信や受信、S!メールの送信や受信のチェックボックスにはチェックは入りません。尚、機能制御は、SMS、S!メール、PCメールの送受信はロックされます。
- 機能の制御内容の詳細は Appendix2 を参照ください。

「実行内容の確認」画面(図 2-6)が表示されます。

表の上部に並んでいる項目名は、「機能をロックする」画面(図 2-5)にて選択した項目になります。選択した項目数が多い場合には横スクロールバーをスライドさせて表示させます。

各携帯電話番号の欄には、前回、ケータイ機能制御ご利用時に取得した機能のロック状態(下記「凡例」参照)が表示されますが、前回、機能をロックした項目であっても、「機能をロックする(機能選択)」画面(図 2-5)で選択しなかった項目については表示されておきませんのでご注意ください。

【ロック状態の凡例】

○:現在ロック済み

ー:現在ロックされていない(アンロック)

非対応:機能ロックの対象外

実行内容の確認

電話番号: 4 件

メニューに戻る

以下の選択された携帯電話の機能をロックをします。

(※ 非対応の機能はロックされません。)

ページ内全選択

ページ内全解除

選択件数: 3 件 / 4 件

○:ロック、-:アンロック

発着信

メール

No.	選択	携帯電話番号	音声発信	TVコール発信	音声着信	全メール送受信	S!メール送受信	S!メール
1	<input type="checkbox"/>	090-XXXX-XXX1	○	-	非対応	-	-	-
2	<input checked="" type="checkbox"/>	090-XXXX-XXX1	-	-	-	-	-	○
3	<input type="checkbox"/>	090-XXXX-XXX1	○	-	-	-	-	○
4	<input type="checkbox"/>	090-XXXX-XXX1	○	非対応	非対応	-	-	-

機能の選択に戻る

機能をロックする

メニューに戻る

図 2-6 「実行内容の確認」画面

「実行内容の確認」画面(図 2-6)で、機能ロックのリクエストを送信する携帯電話番号の[選択]チェックボックスを ON にし、[機能をロックする]を押下します。



注意

- ロック済み(○)の機能に対しては、機能ロックのリクエストは送信されません。
- 初めてケータイ機能制御をご利用になる携帯電話の場合、全てのロック対応機能がアンロック(-)と表示されます。

「実行確認」画面(図 2-7)が表示されます。



図 2-7 「実行確認」画面



注意

- 確認画面の[OK]を押下すると、すぐに機能ロックリクエストを開始します。[OK]を押下する前に、選択した携帯電話番号などに間違いがないか必ずご確認ください。

ロックしてもよろしければ、[OK]を押下します。

「受付完了」画面(図 2-8)が表示されます。

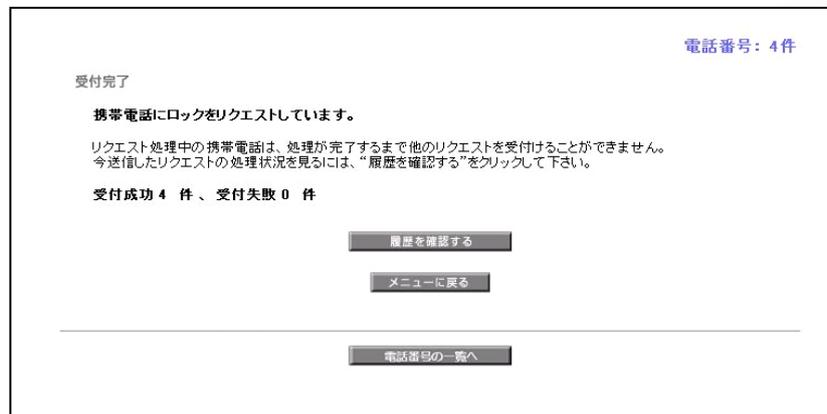


図 2-8 「受付完了」画面

携帯電話の機能が正常にロックされたかどうかを確認するには、「受付完了」画面(図 2-8)の[履歴を確認する]、もしくは「ケータイ機能制御メニュー画面」(図 2-13)の[携帯電話の状態を表示]もしくは[サービスご利用の履歴]からご確認ください。



注意

- 「機能をロック」リクエストを送信すると、ロック処理が完了するまで該当する携帯電話に対する新たなリクエストは受け付けられません。新たなリクエストを送信したい場合は、処理が完了するまでお待ちいただくか、リクエストのキャンセルを行ってください。

3 機能のロック解除

携帯電話の機能のロックを解除するには、法人コンシェルサイトの「ケータイ機能制御メニュー」画面(図 2-9)の「機能のロックを解除」より操作を行い、「機能のロック解除」リクエストを携帯電話へ送信します。携帯電話が「機能のロックを解除」リクエストを受信すると、携帯電話の機能のロックは解除されます。

[機能のロックを解除]メニューの操作手順を以下に記載します。

「ケータイ機能制御メニュー」画面(図 2-9)にて、画面右上に表示されている「電話番号」の件数が正しいことを確認します。

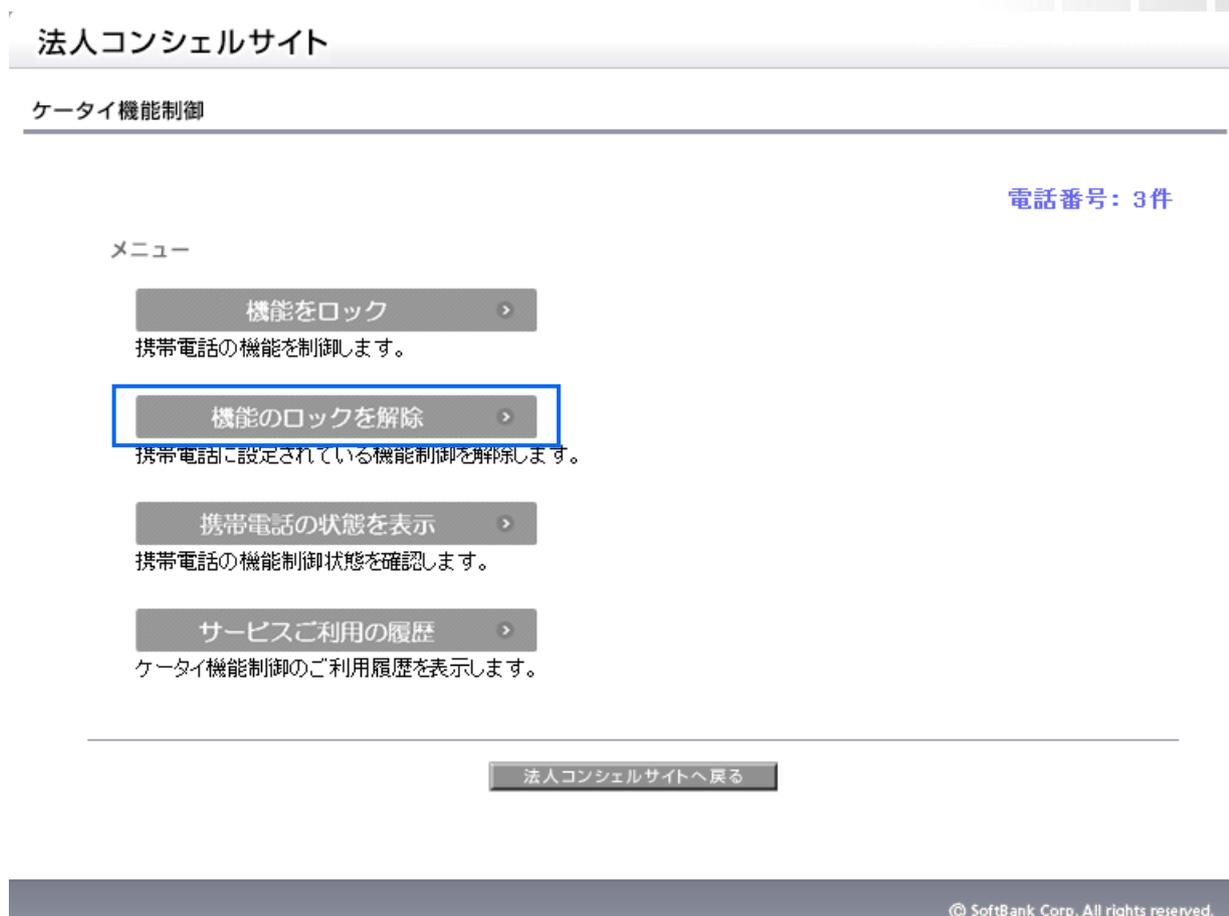


図 2-9 「ケータイ機能制御メニュー」画面

「ケータイ機能制御メニュー」画面(図 2-9)の「機能のロックを解除」を押下します。

「機能のロックを解除する」画面(図 2-10)が表示されます。

前回、ケータイ機能制御ご利用時に取得した機能ロックされている項目が、チェックボックスとして表示されています。

表示されていない機能制御項目は、横スクロールバーをスライドさせて表示させます。

図 2-10 「機能のロックを解除する」画面



注意

- 「非対応」と表示された機能は、機能ロック解除の対象外となります。
- アンロック(－)の機能に対しては、機能ロック解除のリクエストは送信されません。
- 初めてケータイ機能制御をご利用になる携帯電話の場合、全てのロック対応機能がアンロック(－)と表示されます。

「機能のロックを解除する(機能選択)」画面(図 2-10)で、機能ロック解除のリクエストを送信する携帯電話番号の左、もしくは各機能の[選択]チェックボックスを ON にし、[機能のロックを解除する]を押下します。

- ・携帯電話番号の左のチェックボックスを選択した場合: 当該携帯電話番号の全機能がロック解除されます
- ・各機能のチェックボックスを選択した場合: 各機能単位でロック解除されます

実行確認画面(図 2-11)が表示されます。

図 2-11 実行確認画面



注意

- 確認画面の[OK]を押下すると、すぐに機能ロック解除リクエストを開始します。[OK]を押下する前に、選択した携帯電話番号、機能に間違いがないか必ずご確認ください。

ロックを解除してもよろしければ、[OK]を押下します。

「受付完了」画面(図 2-12)が表示されます。

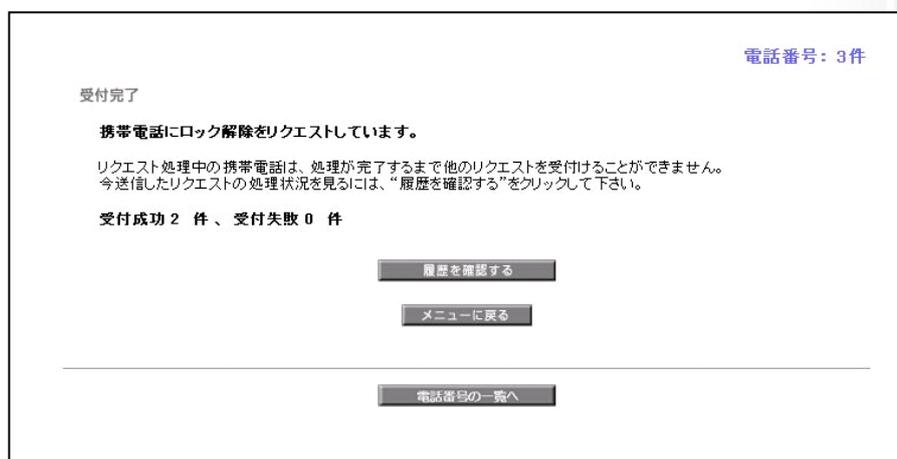


図 2-12 「受付完了」画面

以上で「機能のロックを解除」の操作は完了です。携帯電話に機能ロック解除のリクエストを送信します。携帯電話の機能が正常にロック解除されたかどうかを確認するには、「受付完了」画面(図 2-12)の[履歴を確認する]、もしくは「ケータイ機能制御メニュー」画面(図 2-13)の[携帯電話の状態を表示]もしくは[サービスご利用の履歴]からご確認ください。



注意

- 「機能のロックを解除」リクエストを送信すると、ロック解除処理が完了するまで該当携帯電話に対する新たなリクエストは受け付けられません。新たなリクエストを送信したい場合は、処理が完了するまでお待ちいただくか、リクエストのキャンセルを行ってください。

4 携帯電話の状態を表示

携帯電話の機能のロック状態を確認するには、法人コンシェルサイトの「ケータイ機能制御メニュー」画面(図 2-13)の[携帯電話の状態を表示]より操作を行い、「状態確認」リクエストを携帯電話へ送信します。

対象者の携帯電話が「状態確認」リクエストを受信すると、携帯電話の機能のロック状態を確認できます。

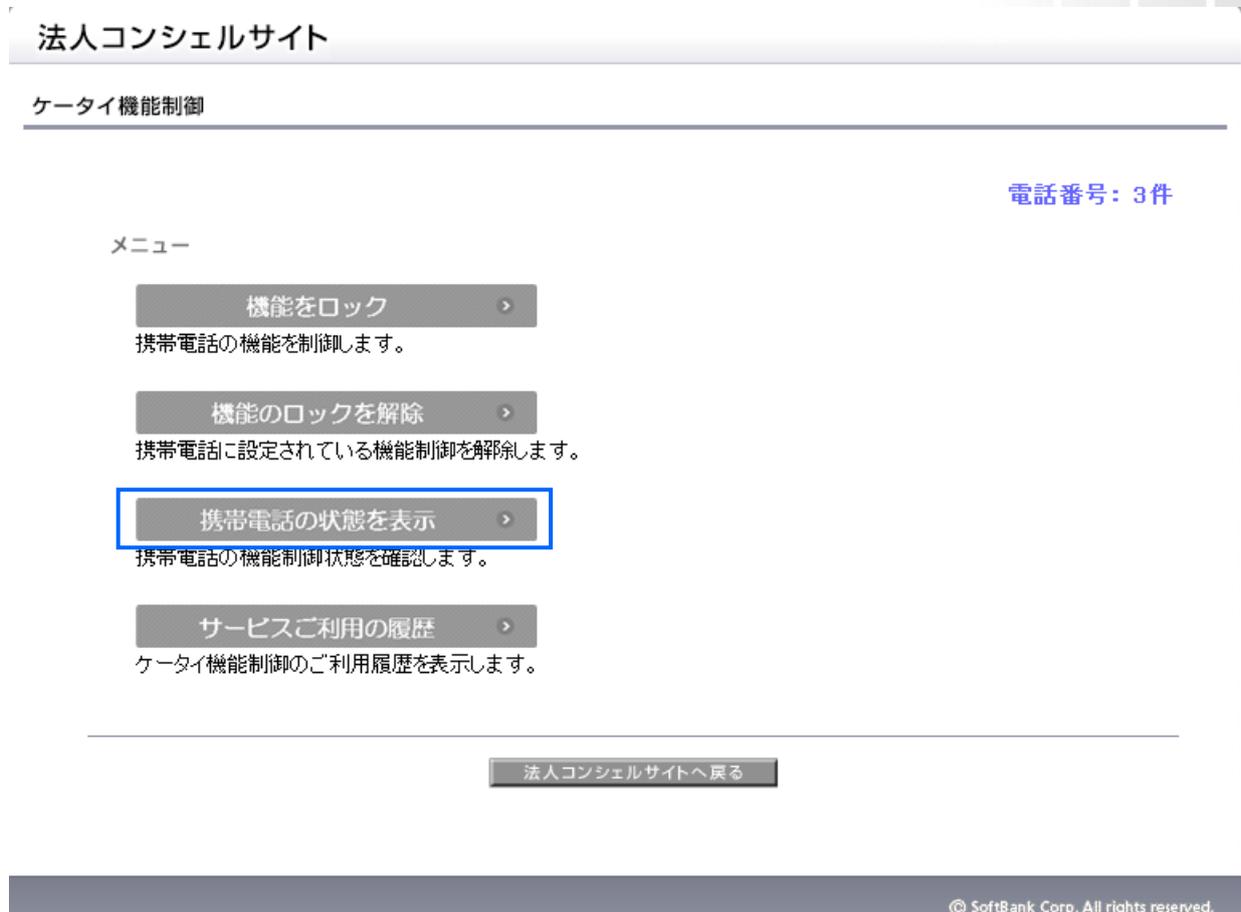


図 2-13 「ケータイ機能制御メニュー」画面

「ケータイ機能制御メニュー」画面(図 2-13)の[携帯電話の状態を表示]を押下します。

「携帯電話の状態」画面(図 2-14)が表示されます。

前回、ケータイ機能制御ご利用時に取得した機能のロック状態が表示されます。
表示されていない機能制御項目は、横スクロールバーをスライドさせて表示させます。

携帯電話の状態

ロック・ロック解除要求の状態です。

最新の状態を携帯電話に問い合わせますか？
最新の状態を問い合わせる携帯電話を選択してください。
一度に問い合わせできる携帯電話は50件までです。

ページ内全選択 ページ内全解除

選択件数: 0 件 / 4 件

○:ロック、-:アンロック

No.	選択	携帯電話番号	音声発信	TVコール発信	音声着信	全メール受信	S!メール受信	S!メール
1	<input type="checkbox"/>	090-XXXX-XXXX	○	-	非対応	-	-	-
2	<input type="checkbox"/>	090-XXXX-XXXX	-	-	-	-	-	○
3	<input type="checkbox"/>	090-XXXX-XXXX	○	-	-	-	-	○
4	<input type="checkbox"/>	090-XXXX-XXXX	○	非対応	非対応	-	-	-

最新の状態を取得する

メニューに戻る

図 2-14 「携帯電話の状態」画面



注意

- 初めてケータイ機能制御をご利用になる携帯電話の場合、全てのロック対応機能がアンロック(-)と表示されます。

最新の状態を取得する場合、「携帯電話の状態」画面(図 2-14)で、状態確認のリクエストを送信する携帯電話の[選択]チェックボックスを ON にし、[最新の状態を取得する]を押下します。

「携帯電話の状態(最新の状態を表示)」画面(図 2-15)が表示されると同時に、対象者の携帯電話に現在のロック状態の情報を取得するリクエストが送信されます。

しばらく経ってから、[最新の状態を表示]を押下すると、携帯電話の応答結果が反映されます。

表示されていない機能制御項目は、横スクロールバーをスライドさせて表示させます。



図 2-15 「携帯電話の状態(最新の状態を表示)」画面



● 注意

- 何らかの理由で携帯電話から応答が得られなかった場合、機能のロック状態を表示することはできません。

「携帯電話の状態」画面で、51件以上の携帯電話の[選択]チェックボックスをONにし、[最新の状態を取得する]を押下した場合、「選択過多(状態確認)」画面(図 2-16)が表示されます。

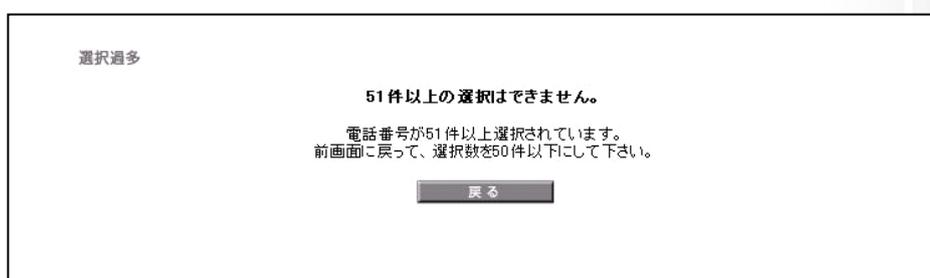


図 2-16 「選択過多(状態確認)」画面

以上で「携帯電話の状態を表示」の操作は完了です。

5 携帯電話の画面表示

- リクエスト送信を受けた携帯電話の画面表示

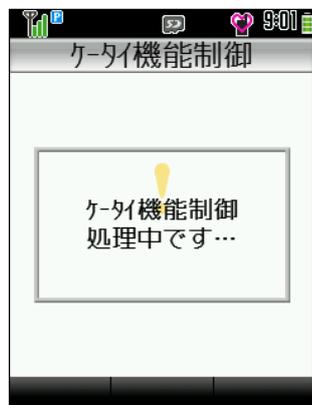


図 2-17 「リクエスト中」画面

- リクエスト送信が完了して制御の処理が完了した携帯電話の画面表示。

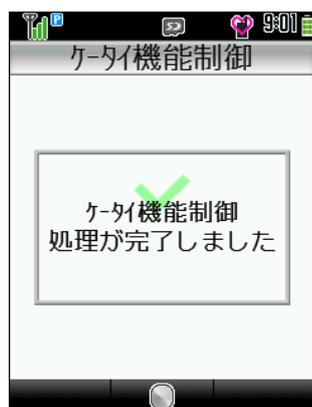


図 2-18 「リクエスト完了」画面

●携帯電話から制御状態を確認する場合

「メニュー」→「設定」→「セキュリティ設定」→「ケータイ機能制御」画面(図 2-19)にて制御状態が確認できます。(機種によって表示が異なる場合があります。)

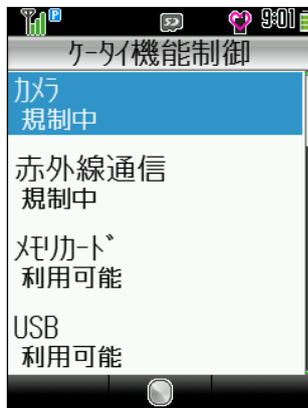


図 2-19 「ケータイ機能制御」画面



注意

- 制御中の機能には「規制中」と表示されますが機種により文言が異なる場合があります。

●制御中の機能を利用しようとした場合

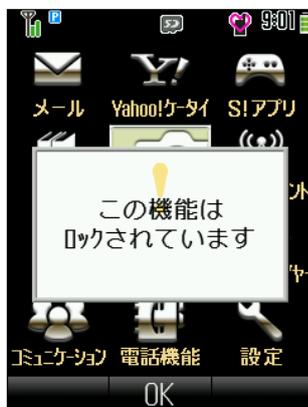


図 2-20 「機能ロック状態のポップアップ」画面

6 サービスご利用の履歴

「サービスご利用の履歴」では、過去 150 日間にケータイ機能制御サービスをご利用いただいた履歴を確認いただけます。

「ケータイ機能制御メニュー」画面(図 2-21)の[サービスご利用の履歴]を押下します。

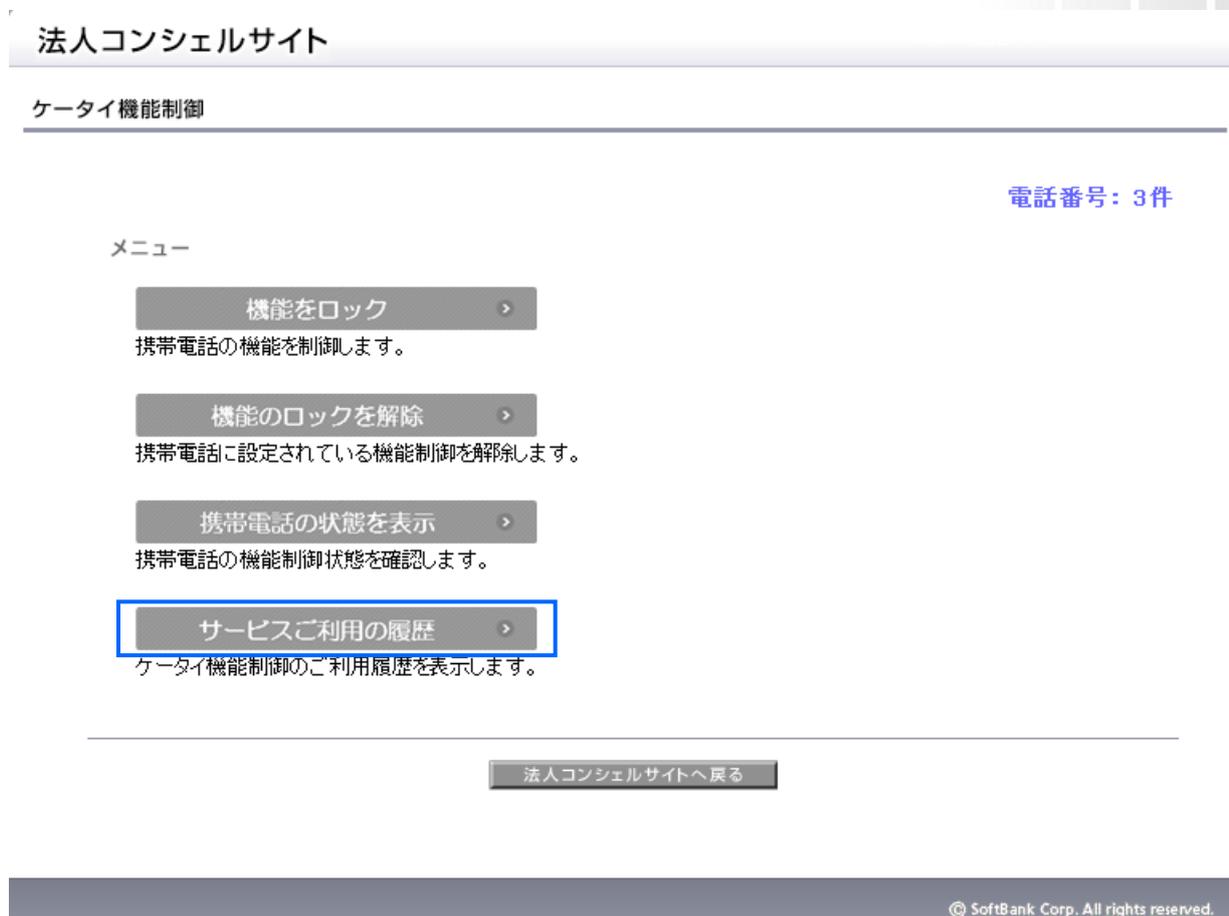


図 2-21 「ケータイ機能制御メニュー」画面

「サービスご利用の履歴(一覧)」画面(図 2-22)が表示されます。

電話番号: 4 件

メニューに戻る

一覧件数: 4 件 / 4 件

No.	携帯電話番号	処理受付日時	最新の要求	処理結果	対象機能
1	090-XXXX-XXXX	2008/06/19 17:08:21	ロック	リクエストを受け付けました。	デジタルTV
2	090-XXXX-XXXX	2008/06/19 17:08:21	ロック解除	システムエラーにより処理を打ち切りました。	ブラウザ カメラ 赤外線通信
3	090-XXXX-XXXX	2008/06/19 17:08:21	ロック	リクエストを再送中です。	ブラウザ カメラ 赤外線通信 Bluetooth メモリカード USB デジタルTV メール 位置情報測位 TVコール発信 音声発信
4	090-XXXX-XXXX	2008/06/19 17:08:21	ロック解除	携帯電話の電源が入っていないか、ご利用圏外にある為、実行できませんでした。	ブラウザ カメラ 赤外線通信

携帯電話の状態を表示

メニューに戻る

図 2-22 「サービスご利用の履歴(一覧)」画面



注意

- 「サービスご利用の履歴(一覧)」は編集できません。
- サービスのご利用から 150 日以上経過した履歴情報は、自動的に削除されません。

携帯電話毎の詳細履歴を確認する場合、「サービスご利用の履歴(一覧)」画面(図 2-22)で、携帯電話番号のリンクを押下します。

「サービスご利用の履歴(詳細)」画面(図 2-23)が表示されます。

【090-XXXX-XXXX】

サービスご利用の履歴 メニューに戻る

No.	処理受付日時	最終更新日時	要求	機能	処理結果
1	2008/06/19 17:00:54	2008/06/19 17:08:21	ロック	ワンセグ	リクエストを受け付けました。
				ブラウザ	リクエストを受け付けました。
2	2008/06/19 17:00:54	2008/06/19 17:08:21	ロック解除	カメラ	リクエストを受け付けました。
				赤外線通信	リクエストを受け付けました。
				ブラウザ	リクエストを再送中です。
3	2008/06/19 17:00:54	2008/06/19 17:08:21	ロック解除	カメラ	リクエストを再送中です。
				赤外線通信	リクエストを再送中です。
				カメラ	携帯電話の電源が入っていないか、ご利用圏外にある為、実行できませんでした。
4	2008/05/17 16:40:55	2008/05/17 16:40:55	ロック	ブラウザ	携帯電話の電源が入っていないか、ご利用圏外にある為、実行できませんでした。
				カメラ	携帯電話からの応答が得られなかった為、実行できませんでした。
5	2008/04/19 17:00:54	2008/04/19 17:08:21	ロック解除	カメラ	携帯電話からの応答が得られなかった為、実行できませんでした。
				赤外線通信	携帯電話からの応答が得られなかった為、実行できませんでした。

履歴一覧に戻る

メニューに戻る

電話番号の一覧へ

図 2-23 「サービスご利用の履歴(詳細)」画面



注意

- 「サービスご利用の履歴(詳細)」は編集できません。
- サービスのご利用から 150 日以上経過した履歴情報は、自動的に削除されます。

7 送信したリクエストのキャンセル

「機能をロック」、「機能のロックを解除」、「携帯電話の状態を表示」をリクエストすると、携帯電話側でリクエストの処理が完了するまで、同じ携帯電話に対して次のリクエストは受付できません。

別のリクエストを送りたい場合、現在処理中のリクエストのキャンセルを実施することができます。

先行のリクエストが完了していない場合、「機能をロック」、「機能のロックを解除」の「受付完了（先行リクエストあり）」画面（図 2-24）で、先行リクエストが存在する携帯電話番号の一覧が表示されます。

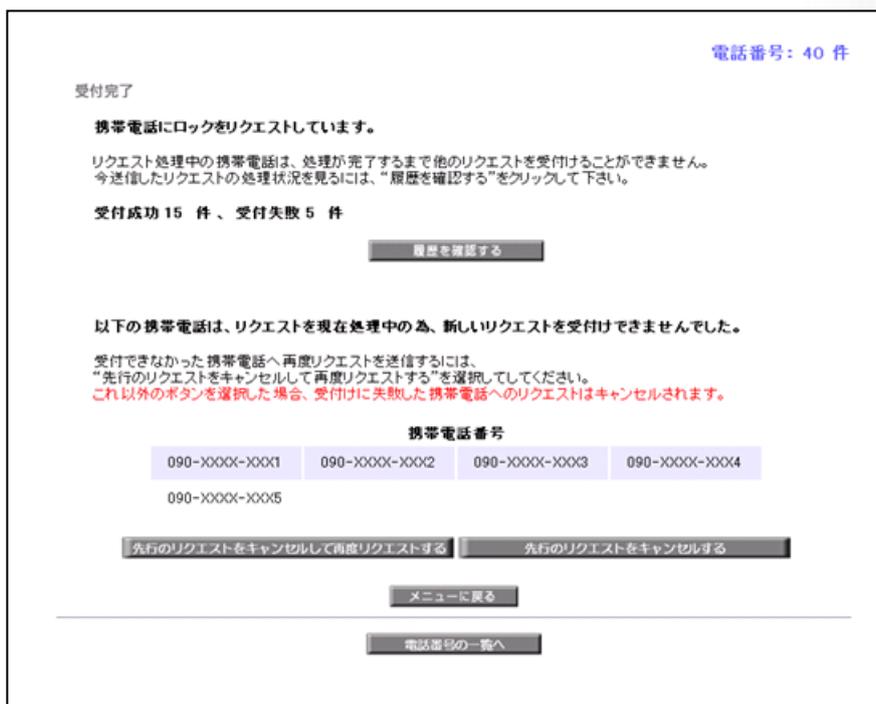


図 2-24 「受付完了（先行リクエストあり）」画面



注意

- 先行リクエストが存在する携帯電話番号の一覧に表示されない場合は、対象の携帯電話に対して処置中のリクエストがなく、すでに処理が完了しています。リクエストのキャンセルは行えません。

7.1 先行のリクエストをキャンセルして再度リクエストする

先行の「機能をロック」、「機能のロックを解除」リクエストをキャンセルし、別のリクエストを送信する場合の操作手順を以下に記載します。

「受付完了(先行リクエストあり)」画面(図 2-24)の[先行のリクエストをキャンセルして再度リクエストする]を押下します。

実行確認画面(図 2-25)が表示されます。



図 2-25 実行確認画面

確認画面の[OK]を押下します。

「受付完了」画面(図 2-26)が表示されます。

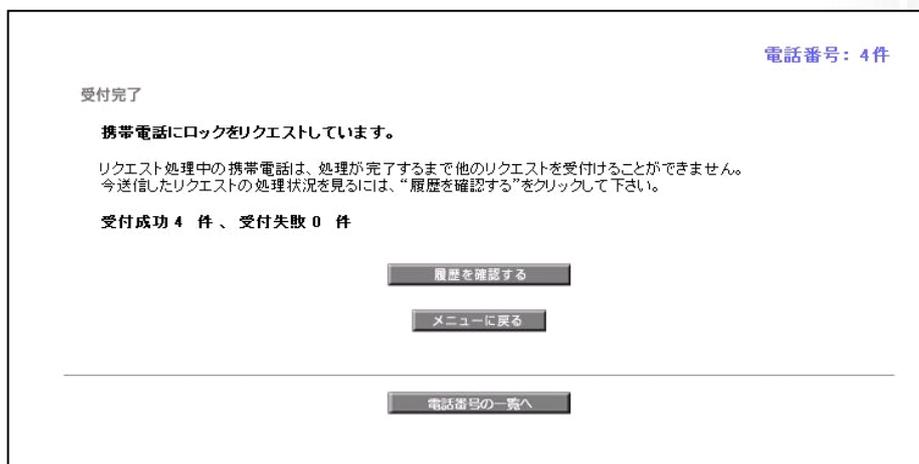


図 2-26 「受付完了」画面

7.2 先行のリクエストをキャンセルする

先行の「機能をロック」、「機能のロックを解除」リクエストをキャンセルする(新たにリクエストを送信しない)場合の操作手順を以下に記載します。

「受付完了(先行リクエストあり)」画面の[先行のリクエストをキャンセルする]を押下します。

実行確認画面(図 2-27)が表示されます。



図 2-27 実行確認画面

確認画面の[OK]を押下します。

「リクエストキャンセル」画面(図 2-28)が表示されます。

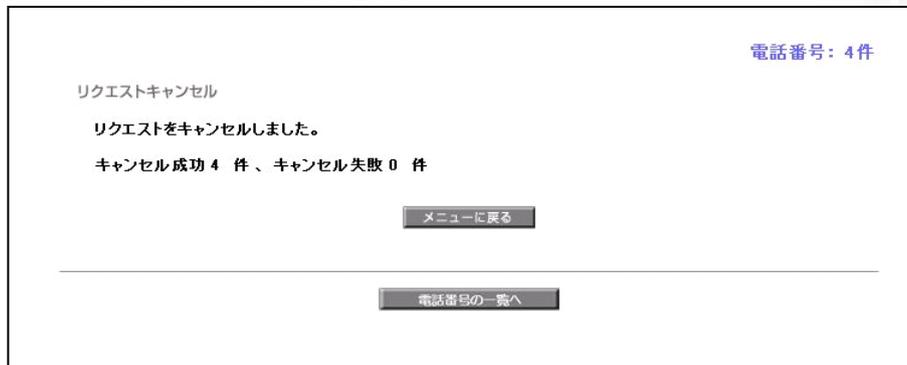


図 2-28 「リクエストキャンセル」画面

Appendix 1

結果表示メッセージ早見表

「サービスご利用の履歴」メニューの「処理結果」、および「携帯電話の状態を表示」メニューの「状態」に表示されるメッセージと、それらのメッセージが示す状況との早見表を以下に記載します。

1 「サービスご利用の履歴(一覧)」画面の表示メッセージ早見表

「サービスご利用の履歴(一覧)」の履歴メッセージは、携帯電話番号単位、要求単位に出力されます。要求の一覧を以下に記載します。

[要求]	内容
機能のロック	「機能をロック」操作に関連したメッセージ
機能のロック解除	「機能のロックを解除」操作に関連したメッセージ

要求毎に出力される「処理結果」と状況の早見表を次に記載します。

1.1 要求: 機能のロック

[処理結果]	状況
リクエストを受け付けました。	携帯電話に機能ロックリクエストが送信されました。
リクエストを実行しています。	機能ロック処理が開始されました。
処理が完了しました。	機能ロックリクエストが正常に処理され、携帯電話の機能のロックが完了しました。
リクエストの実行に失敗した可能性があります。状態確認していただくか、もう一度リクエストを送信して下さい。	機能ロック処理が完了したかどうか、確認がとれませんでした。状態確認をしていただくか、再度リクエストを送信してください。
リクエストの実行に失敗しました。もう一度リクエストを送信して下さい。	機能ロックに失敗しました。再度リクエストを送信してください。
一部リクエストの実行に失敗しました。履歴の詳細を確認の上、もう一度リクエストを送信して下さい。	一部の機能のロックに失敗しました。詳細履歴を確認し、再度リクエストを送信してください。
携帯電話はケータイ機能制御に対応した機種ではない為、処理は行われませんでした。	携帯電話はケータイ機能制御に対応した機種ではありません。携帯電話の対応サービスをご確認ください。
システムエラーにより処理を打ち切りました。	なんらかのシステムエラーが発生したため、リクエストを実行できませんでした。
処理は行われませんでした。	リクエスト送信した際に、既に携帯電話がロックされていたため処理を行いませんでした。
携帯電話からの応答が得られなかった為、実行できませんでした。	携帯電話からリクエストに対する応答が得られませんでした。圏外もしくは電源が入っていない可能性が考えられます。リクエストは処理されませんのでご了承ください。
携帯電話の電源が入っていないか、ご利用圏外にある為、実行できませんでした。	携帯電話からリクエストに対する応答が得られませんでした。圏外もしくは電源が入っていない可能性が考えられます。リクエストは処理されません。
[処理結果]	状況
リクエストを再送中です。	リクエストを再送中です。

	リクエストが携帯電話に到達しない場合、リクエスト送信から 24 時間経過するまで自動で再送処理を行います。
キャンセルされました。	リクエストのキャンセル操作により、ロックリクエストが正常に取り消されました。

1.2 要求:機能のロック解除

〔処理結果〕	状 況
リクエストを受け付けました。	携帯電話に機能ロック解除リクエストが送信されました。
リクエストを実行しています。	機能ロック解除処理が開始されました。
処理が完了しました。	機能ロック解除リクエストが正常に処理され、携帯電話の機能のロックが完了しました。
リクエストの実行に失敗した可能性があります。状態確認していただくか、もう一度リクエストを送信して下さい。	機能ロック解除処理が完了したかどうか、確認がとれませんでした。状態確認をしていただくか、再度リクエストを送信してください。
リクエストの実行に失敗しました。もう一度リクエストを送信して下さい。	機能ロック解除に失敗しました。再度リクエストを送信してください。
一部リクエストの実行に失敗しました。履歴の詳細を確認の上、もう一度リクエストを送信して下さい。	一部の機能のロック解除に失敗しました。詳細履歴を確認し、再度リクエストを送信してください。
携帯電話はケータイ機能制御に対応した機種ではない為、処理は行われませんでした。	携帯電話はケータイ機能制御に対応した機種ではありません。携帯電話の対応サービスをご確認ください。
システムエラーにより処理を打ち切りました。	なんらかのシステムエラーが発生したため、リクエストを実行できませんでした。
処理は行われませんでした。	リクエスト送信した際に、既に携帯電話がロックされていたため処理を行いませんでした。
携帯電話からの応答が得られなかった為、実行できませんでした。	携帯電話からリクエストに対する応答が得られませんでした。圏外もしくは電源が入っていない可能性が考えられます。リクエストは処理されませんのでご了承ください。
携帯電話の電源が入っていないか、ご利用圏外にある為、実行できませんでした。	携帯電話からリクエストに対する応答が得られませんでした。圏外もしくは電源が入っていない可能性が考えられます。リクエストは処理されません。
リクエストを再送中です。	リクエストを再送中です。 リクエストが携帯電話に到達しない場合、リクエスト送信から 24 時間経過するまで自動で再送処理を行います。
キャンセルされました。	リクエストのキャンセル操作により、ロックリクエストが正常に取り消されました。

2 「サービスご利用の履歴(詳細)」画面の表示メッセージ早見表

「サービスご利用の履歴(詳細)」の履歴メッセージは、携帯電話番号単位、要求単位、機能単位に出力されます。要求の一覧を以下に記載します。

〔要求〕	内容
機能のロック	「機能をロック」操作に関連したメッセージ
機能のロック解除	「機能のロックを解除」操作に関連したメッセージ

要求毎に出力される「処理結果」と状況の早見表を次に記載します。

2.1 要求:機能のロック

[処理結果]	状 況
リクエストを受け付けました。	携帯電話に機能ロックリクエストが送信されました。
リクエストを実行しています。	機能ロック処理が開始されました。
処理が完了しました。	機能ロックリクエストが正常に処理され、携帯電話の機能のロックが完了しました。
リクエストの実行に失敗した可能性があります。状態確認していただくか、もう一度リクエストを送信して下さい。	機能ロック処理が完了したかどうか、確認がとれませんでした。状態確認をしていただくか、再度リクエストを送信してください。
リクエストの実行に失敗しました。もう一度リクエストを送信して下さい。	機能ロックに失敗しました。再度リクエストを送信してください。
既にロックされていた為、処理は行われませんでした。	携帯電話の対象の機能が既にロックされていたため、ロックリクエストは実行されませんでした。
携帯電話はケータイ機能制御に対応した機種ではない為、処理は行われませんでした。	携帯電話はケータイ機能制御に対応した機種ではありません。携帯電話の対応サービスをご確認ください。
システムエラーにより処理を打ち切りました。	なんらかのシステムエラーが発生したため、リクエストを実行できませんでした。
処理は行われませんでした。	リクエスト送信した際に、既に携帯電話がロックされていたため処理を行いませんでした。
携帯電話からの応答が得られなかった為、実行できませんでした。	携帯電話からリクエストに対する応答が得られませんでした。圏外もしくは電源が入っていない可能性が考えられます。リクエストは処理されませんのでご了承ください。
携帯電話の電源が入っていないか、ご利用圏外にある為、実行できませんでした。	携帯電話からリクエストに対する応答が得られませんでした。圏外もしくは電源が入っていない可能性が考えられます。リクエストは処理されません。
リクエストを再送中です。	リクエストを再送中です。 リクエストが携帯電話に到達しない場合、リクエスト送信から 24 時間経過するまで自動で再送処理を行います。
キャンセルされました。	リクエストのキャンセル操作により、ロックリクエストが正常に取り消されました。

2.2 要求:機能のロック解除

[処理結果]	状 況
リクエストを受け付けました。	携帯電話に機能ロック解除リクエストが送信されました。
リクエストを実行しています。	機能ロック解除処理が開始されました。
処理が完了しました。	機能ロック解除リクエストが正常に処理され、携帯電話の機能のロックが完了しました。
リクエストの実行に失敗した可能性があります。状態確認していただくか、もう一度リクエストを送信して下さい。	機能ロック解除処理が完了したかどうか、確認がとれませんでした。状態確認をしていただくか、再度リクエストを送信してください。
リクエストの実行に失敗しました。もう一度リクエストを送信して下さい。	機能ロック解除に失敗しました。再度リクエストを送信してください。
既にロック解除されていた為、処理は行われませんでした。	携帯電話の対象の機能が既にロック解除されていたため、ロック解除リクエストは実行されませんでした。
携帯電話はケータイ機能制御に対応した機種ではない為、処理は行われませんでした。	携帯電話はケータイ機能制御に対応した機種ではありません。携帯電話の対応サービスをご確認ください。
システムエラーにより処理を打ち切りました。	なんらかのシステムエラーが発生したため、リクエストを実行できませんでした。

処理は行われませんでした。	リクエスト送信した際に、既に携帯電話がロック解除されていたため処理を行いませんでした。
携帯電話からの応答が得られなかった為、実行できませんでした。	携帯電話からリクエストに対する応答が得られませんでした。圏外もしくは電源が入っていない可能性が考えられます。リクエストは処理されませんのでご了承ください。
携帯電話の電源が入っていないか、ご利用圏外にある為、実行できませんでした。	携帯電話からリクエストに対する応答が得られませんでした。圏外もしくは電源が入っていない可能性が考えられます。リクエストは処理されません。
リクエストを再送中です。	リクエストを再送中です。 リクエストが携帯電話に到達しない場合、リクエスト送信から 24 時間経過するまで自動で再送処理を行います。
キャンセルされました。	リクエストのキャンセル操作により、リクエストが正常に取り消されました。

3 「携帯電話の状態を表示」の表示メッセージ早見表

「携帯電話の状態」画面の「状態」として表示されるメッセージと状況の早見表を次に記載します。

[状態]	状 況
リクエストを受付けました。携帯電話からの応答を待っています。	携帯電話に状態確認リクエストが送信されました。
携帯電話はケータイ機能制御非対応機種の為、状態確認できませんでした。	携帯電話はケータイ機能制御に対応した機種ではありません。携帯電話の対応サービスをご確認ください。
先行リクエストを処理中の為、状態確認できませんでした。	先行リクエスト(機能をロック、機能のロックを解除、状態確認)が処理中です。先行リクエストをキャンセルするか処理が完了するまで後続のリクエストは受け付けることができません。
システムエラーにより、状態確認できませんでした。	なんらかのシステムエラーが発生したため、リクエストを実行できませんでした。
携帯電話からの応答が得られなかった為、状態確認できませんでした。	携帯電話からリクエストに対する応答が得られませんでした。圏外もしくは電源が入っていない可能性が考えられます。リクエストは処理されませんのでご了承ください。
携帯電話の電源が入っていないか、ご利用圏外にある為、状態確認できませんでした。	携帯電話からリクエストに対する応答が得られませんでした。圏外もしくは電源が入っていない可能性が考えられます。リクエストは処理されません。

Appendix 2

機能毎の制御内容

ケータイ機能制御で制御が可能な機能とその制御内容を次に記載します。(2017年11月01日現在)

機能		制御内容	
発着信	発信	音声発信	TVコールを含む音声発信をロックします。 (緊急通報、157は発信可能です)
		TVコール発信	TVコール発信をロックします。
メール ※1	全メール	音声着信	音声通話およびTVコールの着信をロックします。
		全メール送受信 ※2、※3	SMS、S!メール、PCメールの送受信をロックします。
	SMS	SMS送信	SMSの送信をロックします。 S!メールおよびPCメールの送信はロックしません。
		SMS受信 ※2	SMSの受信をロックします。 S!メールおよびPCメールの受信はロックしません。
	S!メール	S!メール送受信 ※3	S!メールおよびPCメールの送受信をロックします。 SMSの送受信はロックしません。
		S!メール送信	S!メールの送信をロックします。 SMSおよびPCメールの送信はロックしません。
		S!メール受信 ※3	S!メールの受信をロックします。 SMSおよびPCメールの受信はロックしません。
	PCメール	PCメール送受信	PCメールの送受信をロックします。 S!メールおよびSMSの送受信はロックしません。
オプション	メールへのファイル添付	メールへのファイル添付をロックします。	
電話帳 外発着 信 ※4	発信	音声発信	電話帳に登録されていない番号への音声通話およびTVコールの発信をロックします。また、電話帳への書き込みもロックします。 (緊急通報、157は発信可能です)
		音声発信 (1311許可)	電話帳に登録されていない番号への音声通話およびTVコールの発信をロックします。また、電話帳への書き込みもロックします。ただし1311を頭につけての発信は可能です。 (1311は請求先分割サービスで利用する特番です。1311を発信先番号の頭につけて発信すると通話料が個人向けに請求されます)
	着信	音声着信	電話帳に登録されていない番号からの音声通話およびTVコールの着信をロックします。また、電話帳への書き込みもロックします。
	SMS	SMS送受信 ※2	電話帳に登録されていない番号に対するSMSの送信および受信をロックします。また、電話帳への書き込みもロックします。
	S!メール	S!メール送受信 ※3	電話帳に登録されていない番号やEメールアドレスに対するS!メールの送信および受信をロックします。また、電話帳への書き込みもロックします。
	電話帳書込み	電話帳書込み	電話帳の新規登録や編集、削除をロックします。

機能		制御内容	
インターネット	ブラウザ	ブラウザ全般 ※1 ※5	Yahoo!ケータイ、PC サイトブラウザ、S!速報ニュース、MySoftbank、S!GPS ナビ、簡易位置情報、機種毎に実装しているブラウザ機能等をロックします。
		PC サイトブラウザ	PC サイトブラウザのみをロックします。
	ブラウザキャッシュ	ブラウザキャッシュ	ロック時にブックマークを除いた閲覧履歴等のキャッシュを削除します。また、ブラウザ利用時は、ブックマークの閲覧、および Cookie 等認証情報以外の登録をロックし、ブラウザ終了時に認証情報を削除します。
マルチメディア	プレイヤー	デジタル TV	ワンセグ TV 等、デジタル TV の起動をロックします。
		メディアプレイヤー	メディアプレイヤーの起動、および着信メロディの設定をロックします。
		FM ラジオ	FM ラジオの起動をロックします。
	アプリ	S!アプリ	S!アプリの起動をロックします。ダウンロード不可です。月額有料アプリについては制御中も料金は発生します。
		ウィジェット	ウィジェットコンテンツの起動をロックします。ダウンロード利用不可です。待受設定されているウィジェットは解除されます。 ※4G ケータイではダウンロードはロックしません。
		あんしんバックアップ	あんしんバックアップアプリの起動をロックします。
		LINE	LINE アプリの起動をロックします。
		音声レコーダー	音声レコーダーの起動をロックします。ただし音声レコーダーの再生はロックしません。
		標準搭載アプリのみ許可	標準搭載アプリ以外のアプリ起動をロックします。
		アプリのインストール	SD カード等からアプリのインストールができないようにロックします。
	カメラ	カメラ全機能	バーコードリーダー等を含めた全てのカメラ機能をロックします。 静止画撮影、動画撮影、バーコードリーダ全て使用不可です。TV コールは代替画像での表示となります。
		バーコードリーダーのみ許可	カメラの写真撮影機能をロックします。バーコードリーダーや QR コードリーダー等はロックしません。
	通信	パケット通信制限 ※4G ケータイ向け ※6	有料のパケット通信をロックします。ただし、時刻補正や携帯電話を利用するために必要な OS の自動通信等はロックしません。
パケット通信制限 (弱) ※7		有料のパケット通信を一部ロックします。ただし、LINE、ブラウザ、メール、時刻補正や携帯電話を利用するために必要な OS の自動通信等はロックしません。	
ストリーミング通信		ストリーミング機能をロックします。ブラウザ上のストリーミング再生もロックします。	
Flash		データフォルダ内に保存された Flash の通信機能をロックします。通信を行わない Flash の利用やブラウザからの Flash 通信はロックしません。	
IP サービス		S!ともだち状況、S!一斉トーク、着デコなどの IP サービスをロックします。	

機能		制御内容	
システム	測位	位置情報測位	位置測位機能をロックします。ただし、ロック中も位置ナビ一斉検索による位置測位は可能です。
	セキュリティ	パスワードキーロック ※8	パスワードキーロックを強制的に ON にします。携帯電話側で OFF にすることはできません。また、パスワードが未設定の場合、最初に設定画面を表示しパスワードを設定させます。
		パスワードキーロック中の通知	パスワードキーロック中にメール等の通知の詳細内容を表示しません。
		スクリーンショット	スクリーンショット機能をロックします。
外部接続	有線通信	USB	データ転送、ダイヤルアップ接続など USB 機能をロックします。
	無線通信	赤外線通信	赤外線通信機能をロックします。
		Wi-Fi	Wi-Fi 機能をロックします。
		Felica	おサイフケータイ®など FeliCa 機能をロックします。
	Bluetooth	Bluetooth 全機能	ハンズフリー、ヘッドセットを含めた全ての Bluetooth 機能をロックします。
		ハンズフリー機能のみ許可	ハンズフリー、ヘッドセット以外の Bluetooth 機能をロックします。
	メモ리카ード	メモ리카ード	メモ리카ード機能をロックします。
	USIM	USIM 書込み	アドレス帳、SMS の USIM カードへの書込みをロックします。
USIM 参照		アドレス帳、SMS の USIM カードからの読込みをロックします。	
海外ローミング設定	発信/送信 ※9	音声発信/メール送信	海外ローミング時に音声通話および TV コールの発信、SMS および S!メールの送信、PC メールを送受信をロックします。
		滞在国以外への発信	海外ローミング時に滞在圏以外への音声通話および TV コールの発信をロックします。
		滞在国と日本以外への発信	海外ローミング時に滞在圏以外および日本以外への音声通話および TV コールの発信をロックします。
	着信/受信	音声着信/メール受信	海外ローミング時に音声通話および TV コールの着信、S!メールの受信、PC メールを送受信をロックします。
	メール	メール送受信	海外ローミング時に SMS 送信、S!メール送受信、PC メール送受信をロックします。
	ブラウザ	ブラウザ全般 ※5	海外ローミング時に Yahoo!ケータイ、PC サイトブラウザ、S!速報ニュース等をロックします。
	通信	パケット通信制限 ※4G ケータイ向け※10	海外ローミング時のみ有料のパケット通信をロックします。ただし、時刻補正や携帯電話を利用するために必要な OS の自動通信等はロックしません。
		パケット通信制限(弱)	海外ローミング時のみ有料のパケット通信の一部をロックします。ただし、ブラウザ、メール、時刻補正や携帯電話を利用するために必要な OS の自動通信等はロックしません。
一時解除設定※11	一時解除時間	一時解除しない	一時解除時間を設定しません。
		1 時間	一時解除時間を 1 時間に設定します。
		6 時間	一時解除時間を 6 時間に設定します。
		24 時間	一時解除時間を 24 時間に設定します。
		72 時間	一時解除時間を 72 時間に設定します。
		無制限	一時解除時間を無制限に設定します。

制御内容の注意点

※1

- ・「全メール送受信(旧称:メール)」及び「ブラウザ全般(旧称:Yahoo!ケータイ)」をロックしていても位置ナビー斉検索(ご加入の場合)での位置測位を行うことができます。

※2

- ・「全メール送受信」など、SMSの受信機能をロックしていても、4Gケータイではソフトバンクから配信される一部SMSを受信(受信料無料)する場合があります。

※3

- ・「全メール送受信」など、S!メールの受信機能をロックすると、「電話帳配布」サービスにて送信される電話帳データを添付したS!メールは受信できません。

※4

- ・「電話帳外発着信」をロックした場合、管理者が法人コンシェルサイトで「電話帳配布(4Gケータイのみ)」サービスを利用しての電話帳の登録・削除・編集のみ行えます(あんしんバックアップなどその他サービス及びアプリを利用して電話帳の登録・削除・編集はできません)。共有電話帳においては「読み込み(変更分のみ)」「読み込み(全件上書き)」のみが可能となります。管理者以外の携帯電話所持者などが携帯電話などから電話帳の登録・削除・編集を行えません。

※5

- ・「ブラウザ全般」をロックしても、全てのパケット通信がロックされる訳ではありません。

※6

- ・マルチメディア>パケット通信制限 ※4Gケータイ向けにチェックを入れると、全メール送受信、ブラウザ全般、あんしんバックアップ、LINE、パケット通信制限(弱)、ストリーミング通信、Flash、IPサービスにも自動でチェックが入ります。

※7

- ・アプリのアップデートや各種サービスなど有料のパケット通信をロックします。
ただし、位置ナビー斉検索による位置測位、携帯電話を利用するために必要な自動通信、ブラウザ、メール、あんしんバックアップ、LINE、位置情報測位、電話帳配布はロックされません。
- ・LINEを利用される場合は、あらかじめLINEをセットアップしたあとでロックをかける必要があります。
先にロックをかけると、セットアップができず、LINEがご利用できません。

※8

- ・4Gケータイでは、「パスワードキーロック」をロックする際に、パスワードが未設定の場合、パスワード設定画面が表示され、他の操作ができません(ただし音声着信時及びアラーム鳴動時は着信応答・アラーム停止操作が可能です)。
- ・4Gケータイでは、「パスワードキーロック」のロックを解除すると、端末の設定画面から設定変更ができるようになります。

※9

- ・海外ローミング時、滞在国以外への発信及び滞在国と日本以外への発信は“+”をつけた発信をロックします。

※10

- ・海外ローミング設定>パケット通信制限 ※4Gケータイ向けにチェックを入れると、メール送受信、ブラウザ全般、パケット通信制限(弱)にも自動でチェックが入ります。

※11

- ・「一時解除設定」は、音声着信をロックする場合に設定を行いません。これは、緊急通報などを発信した場合、緊急通報先からの呼び返しの着信を受け入れるために一時的なロック解除の時間を設定するものです。デフォルトの設定は72時間となっています。尚、「電話帳外発着信」で音声着信をロックしている場合でも一時解除時間中は、電話帳外の電話番号からの着信ができます。4G ケータイでは海外ローミング時に限り一時解除設定が非対応となります。

※「音声着信」をロックすると、音声着信時に、発信相手の受話口にはビジートーン(話中音)が流れ、携帯電話の画面には「相手が通話中です」などの通知が表示されます。

※「全メール送受信」をロックすると、送信相手側では送信完了となりますが、受信者はそのメールをご覧頂くことはできません。

※「SMS 送受信」など SMS の送信及び受信に関する項目をロックすると、4G ケータイでは SMS 応答機能をご利用できません。

※4G ケータイでは、ロックされた機能は端末の画面上で「不明」と表示される場合があります。

※4G ケータイでは、プリインストール以外のアプリはロックの対象外となります。

※4G ケータイでは、通話中はロックをかけることができません。

※対応機種などは法人のお客さま向けホームページ

(https://www.softbank.jp/biz/mobile/service_solution/service/4g/kinouseigyoo/)をご覧ください。